



令和3年3月10日(水)

暖かい日と寒い日を繰り返しながら、少しずつ春が近づいてきています。ひよこ組の保育室に差し込んでくるやわらかな日差しが子どもたちを優しく包んでくれているように感じます。

先日、遊戯室に飾っている雛人形をみんなで見に行きました。最初は「なんだろう？」という表情で小さな子どもたちにとっては大きなひな壇を見上げていました。雛人形の雅な美しさを感じたのでしょいか子どもたちは目を丸くしてじーっと見入り「あー」「おっ」と言いながら指を差したり、触れてみようとして手を伸ばしたり雛人形への関心でいっぱいでした。保育士が「あかりをつけましょぼんぼりに～...♪」と歌うと歌に合わせて身体を左右にゆっくりと揺らしたり、手をパチパチと叩いたりしてうっとり聞き入る子どもたちの姿が可愛らしいです。



「しっし出たよ」

今の時期、月齢が高い子どもたちに個々の排尿間隔や午睡前後等の活動の節目にトイレに誘っています。「おしっこ行こうか」という保育士の一言で嬉しそうに自分でズボンを脱ごうとしながらトイレの前に集まってくる子どもたち。おまるや便器に座ることが嬉しいようで、おしっこが出なくてもちょこんと座っています。おしっこが出ると「出た」と自信に充ち溢れた笑顔でトイレから戻ってきます。

自分でズボンを履こうとする姿も見られるようになり片足ずつゆっくりとズボンに足を通してきます。子どもたちの「自分でやりたい」という意欲を大切にしながら、出来た時には認めて褒め、共に育ちを喜び合いながら見守り、支えています。



自分で食べるともっとおいしい

離乳食から幼児食に移行して、1ヶ月が経ったいちとくんとかなめちゃん。今までは保育士から手伝ってもらいながら食べていましたが、幼児食になって手づかみやスプーンを使って食べたり、お汁やお茶のカップを両手でしっかりと持って飲んだりとあつという間に上手になり自分で食べることを喜んでいます。



ありがとうございました

可愛い子どもたちと出逢い、一番成長が著しい大切な時期と一緒に過ごし保護者の皆様と子どもの成長を見守ることができた日々は、私たちにとって本当に幸せで貴重な時間でした。あたたかく見守って頂きありがとうございました。進級に向けて一つ大きなクラスへ時々遊びに行ったりして子どもたちが少しでも戸惑わないで楽しみになるよう残りの1ヶ月一人一人の育ちを支え楽しく過ごしながら進級へとつなげていきたいと思ひます。



すみれぐみだより



2021. 3.10(水)

暖かい日と寒い日を繰り返して少しずつ春が近づいてきていますね。早いものですすみれ組での生活もあと1ヶ月。この1年間で心も体も大きく成長した姿を見ることが出来、喜びを感じています。



「ピクニックにいこうよ！！」

ままごと遊びが大好きなすみれ組さん。お弁当箱に食べ物いっぱい入れて 皆で仲良く、お食事タイム。女の子は「どれにする？」といいながら仲良くお弁当づくり。一方、男の子はそれぞれが美味しそうなお弁当を抱えて、お部屋の隅やレジャーシートの上でピクニック気分を味わっています。

美味しそうなお弁当、、保育士にも「どうぞ」と お裾わけしてくれる子どもたち。「おいしいね！」と言うと「おいしー！！」とほっぺに手を当てて笑顔で答えてくれます。お弁当が楽しいらしく、お家でも「お弁当が食べたい」とリクエストする事もあるようです。

これからも色々な見立て遊びを楽しみたいと思います。



また、暖かくなったら、2階のテラスでおやつを食べる計画もしたいと考えています。



～感覚あそび 小麦粉粘土～

手作りの小麦粉粘土であそびました。「こねてーこねてーのぼしてのぼして～」 「柔らかーい！！」と初めての感覚に不思議そうに触れていました。「先生、パンできた！」「これまぐろ！」それぞれ好きな食べ物を作っていました。



～新しいお友だち～

K・M くんです。これからみんなで たくさんあそぼうね！！



この1年間ですみれ組のお友だちは色々な事が出来るようになりました。自分でズボンの上げ下げをしたり、元気いっぱいのご挨拶を聞かせてくれたり、時にはお友だちとけんかしたり…沢山の成長を見ることが出来ました。これも保護者の皆様のご協力とご理解があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。これからも子ども達の成長を見守っていきたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

ちゅうりっぷだより

第12号

令和3年3月10日(水)

柔らかい日差しを浴びて、園庭に「春」がやって来ました。さくらんぼの花やパンジー、菜の花などが春の風に揺れて咲いています。花の香りに誘われて、てんとう虫が冬眠から目覚めて飛んで来ました。子ども達は頭を寄せ合いててんとう虫を眺めていました。これからまた、虫探しが始まりそうです。

どっちが高い? 「つくし」とせいくらべ!

この一年間、毎日、外の様子を眺めてきた大きな窓ガラスに、子どもが作った「つくし」を飾りました。袴の部分は、はさみで切ったのりで貼り、顔はクレヨンと絵の具で描きました。そして、一人ひとりの背の高さに合わせて16本の「つくし」を貼ると、早速、横に立って「せいくらべ」をする子どもの姿がありました。貼り終わった「つくし」を見ると、どの子も上の窓に頭が届きそうです。いつの間にか、こんなに背が伸びていたのですね。



やっぱり、子ども達には笑顔が一番似合います!

先生、見てて!!

遊戯室で紙飛行機を飛ばそうと階段を降り始めると、寅道くんが「先生、一人で降りれるようになったよ。」と手すりを持たずに一步一步降りていきました。横で冷や冷やしながら見ていた保育士が「見て!寅ちゃんが手すりを持たないで降りてるよ!」と知らせると、快晴くん、清太君くん、煌くんが次々に「先生、見てて!!」と一人で降り始めました。そして、全児、階段の下まで降りてきました。「みんな、お兄ちゃんお姉ちゃんになったね。」と言葉をかけると、自信たっぷりの笑顔で遊戯室へ向かいました。

はやくランチルームで食べたいなあ~

こすもす組になったら、ランチルームで食事することを楽しみにしている子ども達です。そこで、コップやおかずの入ったお皿を、自分の席まで持って行く練習を始めました。しっかり両手で持って、こぼさないようにゆっくり、ゆっくり運んでいます。無事に運び終わると嬉しそうに座って食べ始めます。最後まで残さずに食べたり、苦手な食材を食べたりなど自分の目標を持って取り組んでいます。

一人で着替えて、脱いだ衣服をたたんでいるよ。



ちゅうりっぷ組担任

中西 二木



コロナ禍の中、多くの園行事が中止になりましたが、保護者の皆様にはご協力いただき、有難うございました。

～ お知らせ ～

3・4歳児は異年齢グループで過ごしているため、

3月のクラスだよりはお休みします。



1グループ

ある日のお昼寝後のこと。ひな人形が遊戯室に飾られているのを見つけた4歳児に誘われて、3歳児も一緒にひな人形を見ていました。すると「ひな人形をつくりたい」と声があがり、ひな人形作りをすることになりました。折り紙や紙皿など身近な物を使って製作すると出来あがったひな人形をみて、「私たちのお雛様、飾ってあるのと一緒だ!」と喜んで話していました。ひなまつり会では、5歳児の踊りをみて、3・4歳児も真似して踊りながら「僕たちもたんぽぽさんになったら踊りを教えてもらうんだよね?」と期待をふくらませていました。

2グループ

ひな人形の製作では、自分の分を作り終えた4歳児が3歳児に「こうやって折るんだよ」「ここに貼るよ」など教え、3歳児も分からないことがあると「これで合ってる?」と4歳児に聞きながら作っていました。また、異年齢保育が始まった頃は、こすもす組・ひまわり組と年齢ごとにあそぶことが多かったのですが、最近は年齢に関係なく一緒にあそぶ姿も増えてきました。年下の友だちが困っていると優しく教えたり、年上の友だちの遊ぶ姿を真似て遊びを広げたり、お互いに刺激し合いながら過ごしています。





発行：令和3年3月10日（水）

長い冬が終わり、再び春がやってきました。たんぽぽ組へ進級してからの1年間、みんなで一緒に笑い合ったり、悩んだり、時には友だちと思いがぶつかることもありました。その度にたんぽぽ組15名で力を合わせ、みんなで助け合って乗り越えてきました。4月当初は、まだまだつぼみだった子どもたちも、それぞれが花を咲かせ心の成長をみせてくれました。元気いっぱいの15名の笑顔に囲まれ、楽しく過ごすことができました。

♪今日はうれしいひなまつり～

2月の終わりにどんなひなまつり会にしようかと話していると、男の子は「女の子のお祝いの日だから、喜ぶことを考えよう」女の子は「いつも守ってくれるからありがとうの気持ちを伝えよう」と話し合いが始まりました。男の子と女の子がそれぞれ分かれて集まり、時折お互いの様子を伺いながら、お互いがお互いを思い合っ話し合う姿はなんともほほえましく温かい気持ちになりました。当日のひなまつり会では、“おまわりさんやこいのぼりみたいに元気に優しく、女の子を守ってあげたい”と『犬のおまわりさん』と『こいのぼり』を披露した男の子。少し照れながらも嬉しそうにしていた女の子は、そんな気持ちに応えるように、“優しい気持ちが伝わるように”と『ちゅうりっぷ』と『しゃぼん玉』をうたい、ありがとうの気持ちを表現しました。お互いを思っうたっている姿は、本当に楽しそうに輝いて見えました。小さい頃から一緒に過ごしてきた仲間を想う姿を力強く思い、心の底からぽかぽかと暖まるような一日でした。

僕たちもうすぐ小学生！

3月に入り、「ランドセルもう届いたよ♪」「4月から小学校だ～」と就学に向けてさらに期待をふくらませている子どもたち。ふとカレンダーを見て「あと〇日で卒園だ」と保育園での生活も残り少ないことに気づくと、「畑のことしておかないと」「ひまわりさんが次にたんぽぽ組を使えるように、お掃除もしないと」「園庭の雑草も抜いておこう！」と卒園までに自分たちができることは何か考え話してました。年長児として過ごしてきた子どもたちが、これまで過ごしてきた保育園のことを思い、行動に移そうとする温かい姿を支え、就学に向け期待や希望をもって、卒園できるよう、一緒に思いで作りをしながら、残りの園生活を送ることができたらと思っています。

保護者の皆様へ

この一年間で、子どもたち一人ひとりが、それぞれに成長を見せてくれました。保護者の皆様からたくさんの温かいお言葉をいただきました。今年は特に我慢の多い1年となりましたが、皆様と一緒に、悩んだり喜んだりしながら、子どもたちの育ちを見守ることができたこと、また、一年間支えて下さったことを嬉しく思っています。保護者の皆様の深いご理解とご協力に、感謝いたします。本当にありがとうございました。

卒園式について

19日（金）、10：00から卒園式を行います。コロナウイルス感染防止の為、保護者の出席は1家庭1名とさせていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。



5歳児担任：田中・桑原